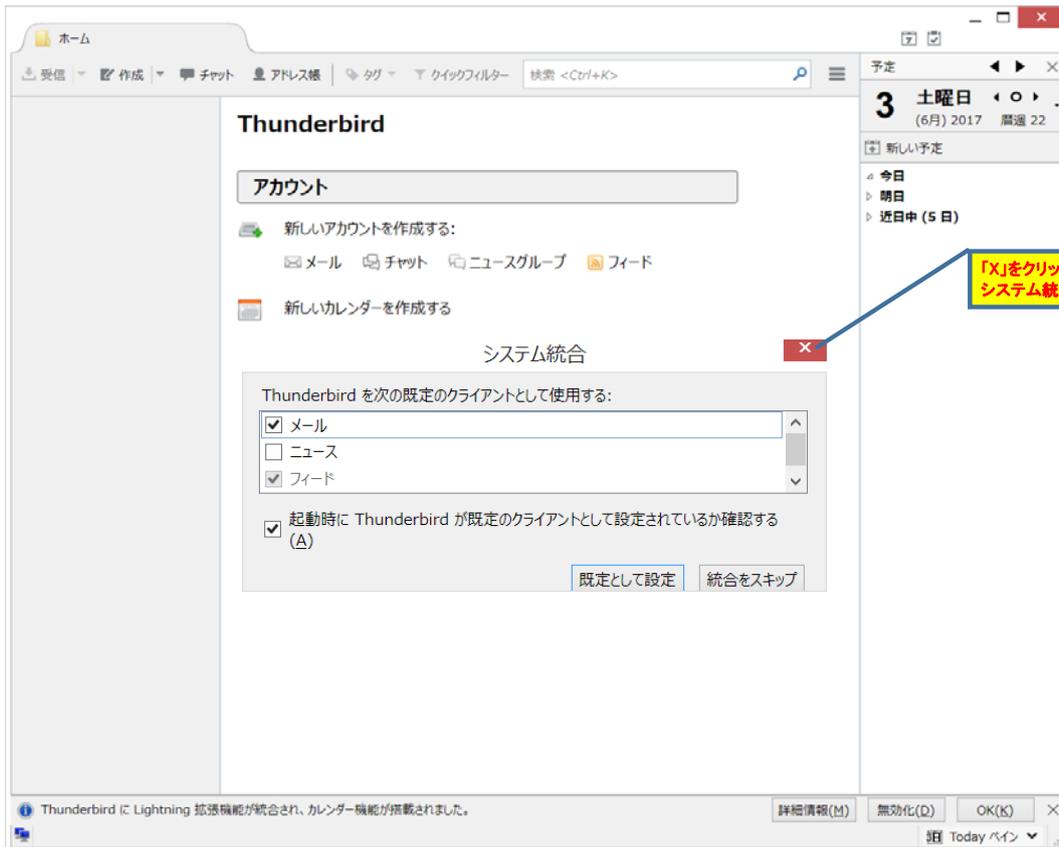


■メールアカウントの追加

インストール後にサンダーバードが立ち上がると、以下の画面が開きます。
そこでメールアカウントを登録します。



システム統合の窓を閉じると、以下のメールアドレス追加の窓が開きます。

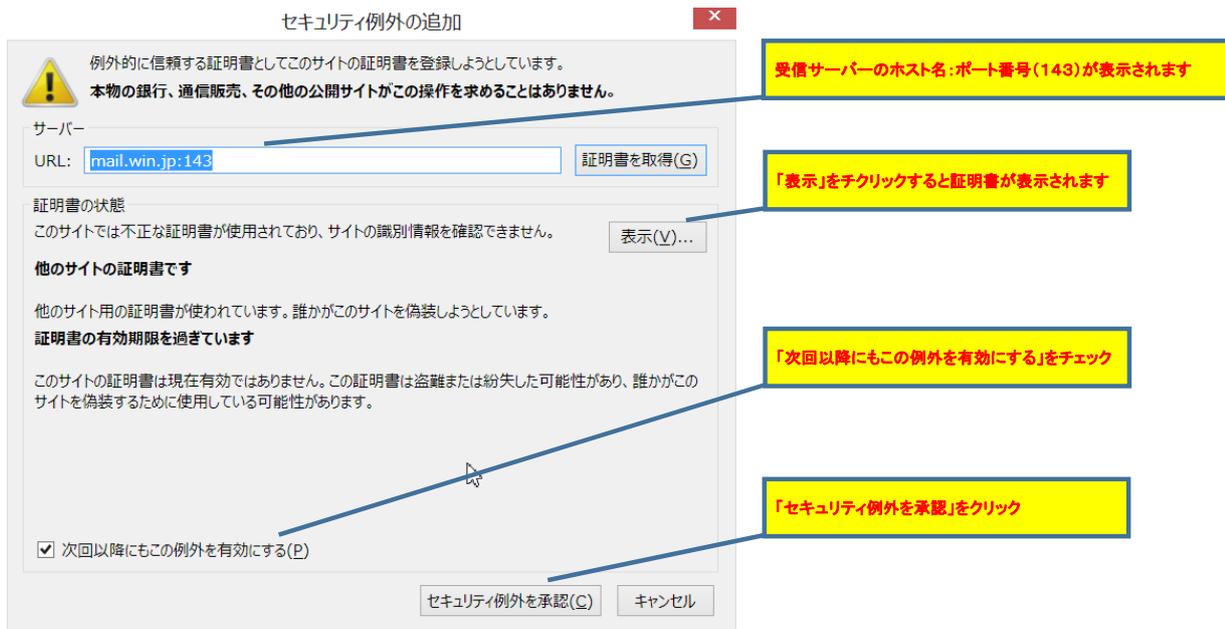


以下の窓が開きますので、お名前、メールアドレス、パスワードを入力してください。

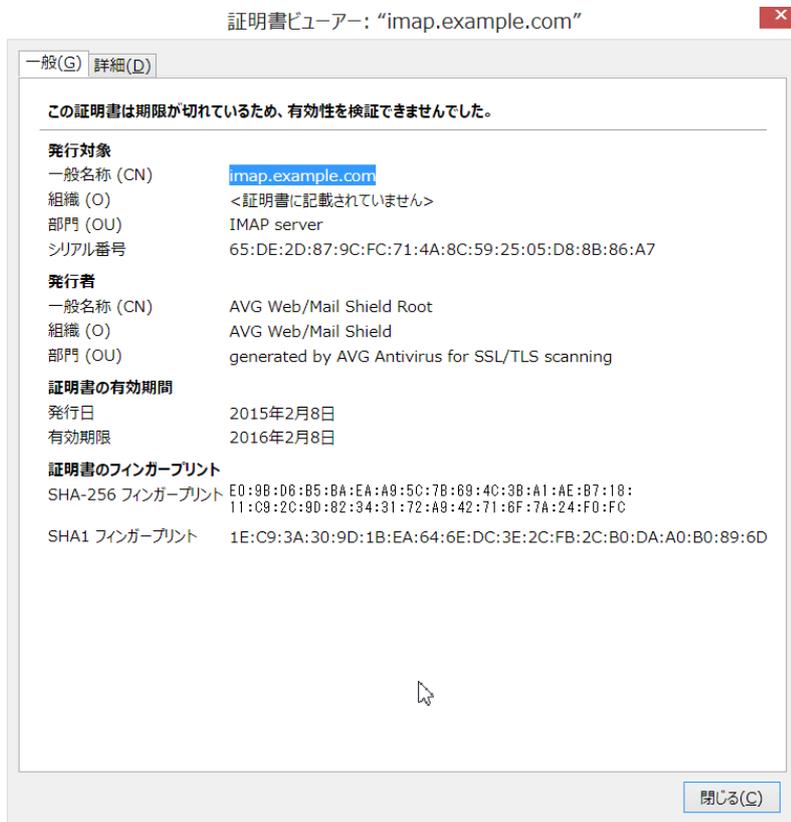
「続ける」ボタンをクリックすると以下の窓が開きます。内容を確認して、「手動設定」ボタンをクリックします。

メールアカウント情報が表示されますので、表示内容を確認してください

完了ボタンをクリックすると、メールサーバーの受信ボックスの時に、サーバー証明書の警告メッセージの小窓が開きます。

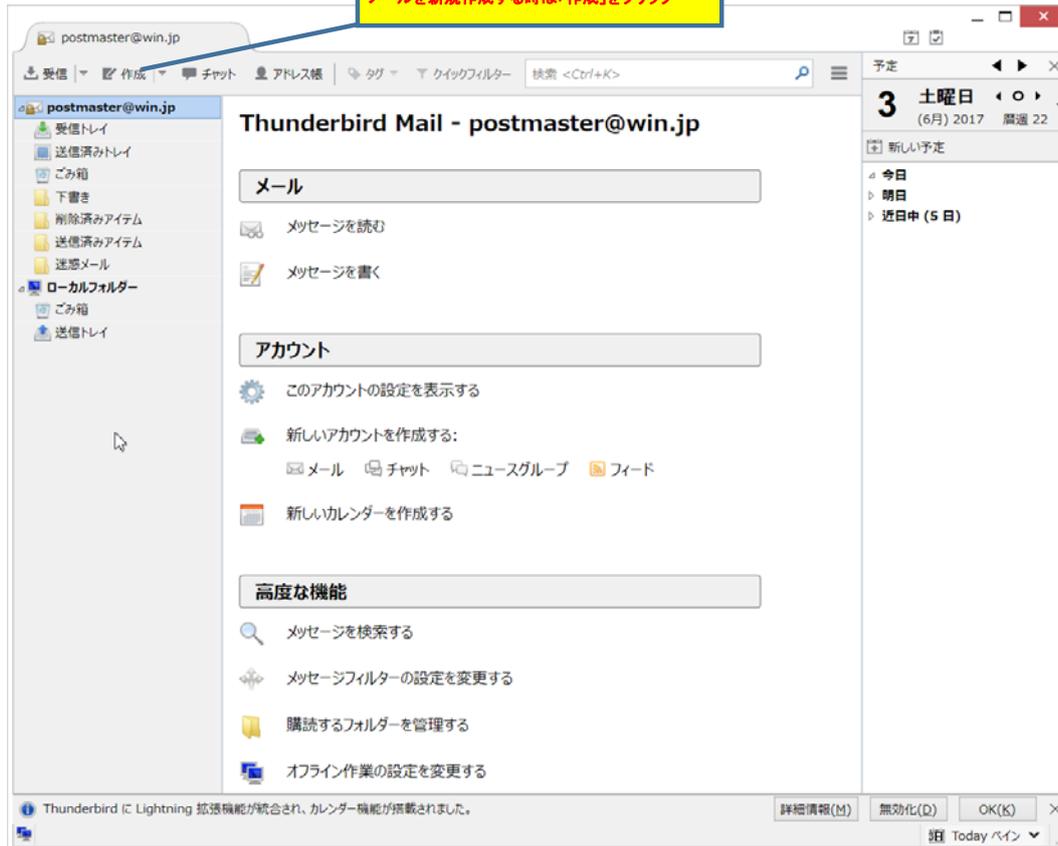


証明書の「表示」をクリックすると、以下の小窓が表示されます(参考までに)



新規メールを作成します。

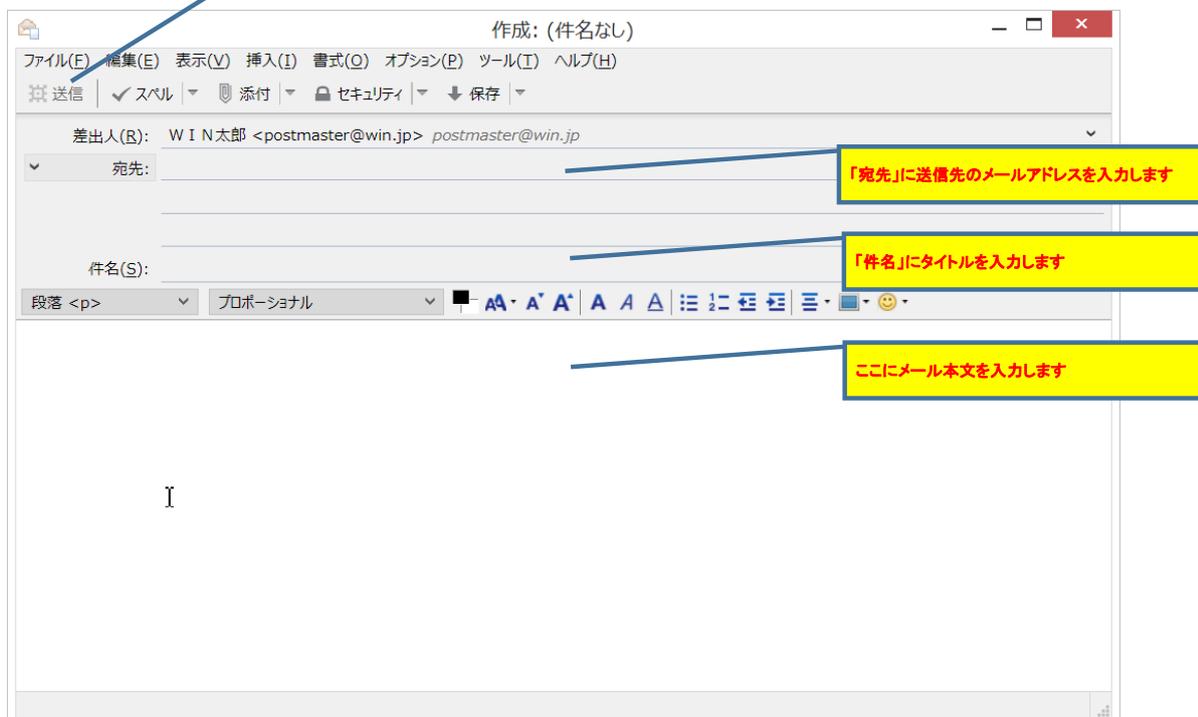
メールを新規作成する時は「作成」をクリック



メール新規作成の窓が開きます。

宛先、件名、本文を書いて、送信をクリックで送信します。

「送信」をクリックでメール送信します



セキュリティ例外の追加

例外的に信頼する証明書としてこのサイトの証明書を登録しようとしています。
本物の銀行、通信販売、その他の公開サイトがこの操作を求めることはありません。

サーバー
 URL:

証明書の状態
 このサイトでは不正な証明書が使用されており、サイトの識別情報を確認できません。

他のサイトの証明書です
 他のサイト用の証明書が使われています。誰かがこのサイトを偽装しようとしています。
不明な証明書です
 安全な署名を使っている信頼できる認証局が発行されたものとして検証されていないため、このサイトの証明書は信頼されません。

次回以降にもこの例外を有効にする(P)

送信サーバーのホスト名:ポート番号(587)が表示されます

「表示」をクリックすると証明書が表示されます

「次回以降にもこの例外を有効にする」をチェック

「セキュリティ例外を承認」をクリック

証明書の「表示」をクリックすると、以下の小窓が表示されます(参考までに)

証明書ビューアー: "win.jp"

一般(G) | 詳細(D)

発行者が不明であるため、この証明書の有効性を検証できませんでした。

発行対象
 一般名称 (CN) win.jp
 組織 (O) WIN Corporation
 部門 (OU) web
 シリアル番号 16:B0:59:10:B2:87:FF:42:93:85:C1:83:7C:C9:0F:BC

発行者
 一般名称 (CN) AVG Web/Mail Shield Untrusted Root
 組織 (O) AVG Web/Mail Shield
 部門 (OU) generated by AVG Antivirus for untrusted server certificates

証明書の有効期間
 発行日 2016年7月19日
 有効期限 2017年7月31日

証明書のフィンガープリント
 SHA-256 フィンガープリント 73:07:0A:E6:EA:69:41:3B:43:38:9A:8E:6D:F8:34:A1:
 15:62:82:40:0C:77:57:CC:53:5B:E8:BB:59:44:09:BF
 SHA1 フィンガープリント 07:70:FD:FD:1D:C4:23:3C:3F:ED:A1:B1:5D:F3:FE:8E:3D:4E:77:B6

以降は、証明書に関する窓は開きません。